

1級審判員を招いての勉強会 (指導育成部スタッフ 岩橋寿明)

次回発行 1月予定

3月18日に大阪府協会の会議室で開催しました勉強会で、2009年度に1級昇級されました大阪所属の武部陽介氏、藤本啓太氏の二人の審判員をお招きし、1級審判になるまでの過程や体験談をご披露いただきました。

個性の異なるお二人ですが、共通しているのはきちっとしたビジョンを持って審判経験を積み重ねる中で1級審判に到達したというところで、私も共感を覚えました。勉強会参加の皆さんもお二人の興味深い話に熱心に耳を傾け、たくさん質問をしている様子を見て審判員としての意識を高めて頂いたと感じました。

武部様、藤本様お忙しい中お話しいただきありがとうございました。

RESPECT PROJECT



大切に思うこと

●月例勉強会 (3/18) … 3月の勉強会では、1級審判員の武部氏、藤本氏をお招きしました。

(3級審判 白石透氏)

毎月行われる勉強会に今回は、2009年度1級に合格された武部氏と藤本氏に来ていただき、その経験と今までのプロセスを語っていただきました。

お二人とも1級になる過程はそれぞれ違っていました。ここまで本当にスムーズに、ほとんど最短でこられていて、何よりも二人とも「若い」というのが私の一番の印象でした。お話の中で私にも「そうだな」と思われた点は、藤本氏の「出来るだけ走って、出来るだけ側でみる。そうすれば例え間違えても選手は納得してくれるだろう。」というところでした。やはりベストを尽くすということが大事なのだと思います。宮本副委員長からもありましたが、お二人には、ぜひ何年後にテレビで主審として見せていただくことがあることを期待しています。ガンバって下さい。



体験談を語る武部氏 (写真左)



1級審判員の藤本氏(左)と武部氏

また、勉強会の中で広島V S 清水のPKのことも取り上げられました。私が思ったのは、J1担当の主審にしても「そういうとは起きてしまう」ということです。いくら頭で解っていても体験したこのないものに出くわすと咄嗟に判断できないときがある。ルールブックを覚えるだけではなく、体で覚える感覚が必要だということを再認識しました。しかし、開始3分で起きてその後ずっと不安な気持ちで87分間レフリングをされていたとしたら、その精神力はさすがだなーとも思います。

最後になりますが、いつも指導育成部技術向上のためにご尽力いただいている中川部長はじめスタッフの皆様、勉強会の中身を毎回考えて頂いたり、資料を作っていただくご担当の皆様、本当に有り難うございます。仕事の関係で遅れたり行けなかったりすることがあると思いますが、これからも宜しくお願いいたします。

●フォローアップ研修会 (2/27~28 開催)

(2級審判 島崎正輝氏)

フォローアップ研修で感じたことは、たくさんの方と触れ合う機会を与えて頂き、レフリーのこと、将来のこと等について意見やアドバイスを聞かせてもらったことが大きなプラスになった。そして、いつもとは少し違った内容の共同作業(ナインダーツや小さなブロックを使い大きな図形を作成する等)をすることで、同時期に昇級した方々との仲間意識が強まり、今まで以上に一体感というものを得られたのではないかと感じた。

●関西学生女子研修会 (2/20開催)

関西学生女子の審判員を対象に、大阪府サッカー協会の指導育成部協力の下、研修会を行いました。内容は「副審」がテーマの研修会で、ビデオを用いた黒島氏による講義と和田氏による実技講習の後、同日開催であったレフェリースクールと合同で練習試合の副審を実践していただきました。



黒島氏による講義



和田氏による実技講習



実技トレーニングでの一幕

以下、参加した方からの感想です。みなさま、お疲れ様でした。

●審判をする機会が多かったのですが、まだまだわからないことが多く、ビデオや実践を通して知らないことがドンドン増えました。普段何気なくしていた審判でしたが、気をつけるべきポイントが分かって、もっとしたいと思うようになりました。細かいところまで、丁寧に教えていただきありがとうございました。(大阪体育大学 4級審判員 島本晃世)

●たくさん不安な点があったけど、今日の研修で解決できました。アシスタントもほとんど1人やったことがなかったので、今日は見ていて頂けて良かったです。3月の地域対抗だけでなく、これから春リーグや秋リーグなどで今日の研修が活かしていければよいと思いました。

(大阪体育大学 4級審判員 清水美里)

2010年開幕前研修会開催 (3/14)

新シーズンを間近に控え本年度も指導育成部の開幕前研修会を実施しました。体力テスト及び競技規則テスト、「手の不正使用」等についての各種講義や、大阪府社会人サッカー選手権決勝を使用した観戦研修等、終日盛り沢山の内容となりました。

(3級審判 西尾英孝氏)

昨年に続き今年も開幕前研修会に参加させていただきました。昨年は、競技規則テストが様々な結果だったため、開催の案内をいただいたときから「今年は勉強し直して挑もう！」と意気込みましたが、結果は勉強不足で今年も残念な結果でした。ただ、勉強の際に昔の競技規則のページをめくっていると3級に昇級した頃の自分の取り組み方と比べて、今の自分の取り組み方が変わっていたことに気付きました。昔と今では経験も生活環境も大きく変わっていますが、今後は以前と同じくらいの向上心を持って活動したいと思います。また、できる限り研修会に参加したいと思います。体力テストのインターバル走はチームで走ることがすごく楽しくて、体調不良にも関わらず少しはしゃいで無理をしてしまいました。無事にクリアできましたが、体調不良を長引かせてしまったのは反省点です。

手や腕の不正な使用についての講習は、私にとって非常に有意義でした。話は少し聞いていましたが、その方針に至った経緯をビデオでわかりやすく解説いただき、とても納得できました。また、レフェリングの際の具体的なアドバイスは今後自分が実際に審判をする際に生きてくるものでした。

観戦研修では社会人選手権の決勝戦を観戦しました。試合は本当に試合終了間際まで得点の入らない緊迫した試合でした。試合後にビデオで試合を振り返りましたが、審判団の判定やポジショニングなどについて参考になる話を聞けました。今回の研修会は普段仕事で月例研修会や指導育成トレセンになかなか参加できない私にとって、一度に多くの審判仲間と話せる貴重な場で、且つ審判活動のモチベーションを維持できる有意義なものです。今後も都合のつく限り研修には参加していきたいと思ひますし、今まで参加することがない方は一度参加されてみることをお勧めします。



開幕前研修会の様子

堺サッカーナショナルトレーニングセンターオープン!

去る4月1日に堺サッカーナショナルトレーニングセンター、通称「堺NTC」が正式オープンしました。天然芝5面、人工芝9面の日本最大級の規模を誇るサッカー施設が大阪の堺に誕生したことで、大阪・関西サッカーの発展の一翼を担ってくれるはずです。また、施設面の充実により試合数の増加が見込まれます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
(<http://www.s-ntc.com/>)



クラブハウス正面



メインフィールドのピッチ



9面の人工芝フィールド!



トラック付フィールド

★交通アクセス

- 公共手段 ①南海線「堺駅」より 南海バス「堺駅西口」より⇒20分⇒「堺トレセン前」⇒徒歩3分
②南海高野線「堺東駅」より 南海バス「堺東駅前」より⇒30分⇒「堺トレセン前」⇒徒歩3分
自家用車 阪神高速湾岸線「三宝IC」より5分、阪神高速堺線「住之江IC」より10分

●手の不正使用について (指導育成部スタッフ 神谷遼平)

既にご存知の方も多いと思いますが、今シーズンから「手の不正使用」に関しての指針が日本サッカー協会より示されました。競技規則の改正はありませんが、手の不正使用を今まで以上に的確に適用することを目的としています。Jリーグをはじめとして日本のすべてのカテゴリーで適用され、もちろん大阪府サッカー協会主催の試合においても全ての審判員が実践していくこととなります。

昨年までと異なる部分もあり戸惑うことも少なくないと思いますが、試合をしていく中で、試合後のインストラクターとの反省会の中で、あるいは他の審判員のレフェリングを見ながら基準を明確にしていきたいと思います。

指導育成部今後の予定

5/24 (月) 19時～

指導育成トレセン (南津守)

6/6 (日) 9時～

ユース審判研修会 (高槻萩谷)

6/17 (木) 19時～

月例勉強会 (大阪府協会)

7/5 (月) 19時～

指導育成トレセン (南津守)